

議長 次に、質問順位5番 8番議員 灰岡裕美君。

議長 灰岡裕美君。

灰岡議員 灰岡裕美です。通告に従い、幼稚園・保育園の跡地利用について質問をいたします。

この質問については、これまで2回に渡り質問を重ねてまいりました。

最初は、令和元年こども園が開園した年、2回目は2年前令和3年3月に町の跡地利用に関する意向と方針を質しました。

今回は前回の質問から2年経過した今、再び前回の質問に沿って、その後の経過と今後の方針について質問したいと思います。

最初の質問です。前回の質問の際に、開催されていたと聞きました正式名、PRE（公的不動産）検討委員会、因みに令和3年3月の町の答弁では、令和元年度10月、12月、2月、令和3年度6月、8月、2月に開催と全6回の開催状況でした。その後の開催状況とその際の検討結果を質問いたします。

議長 山下都市建設課長。

山下都市建設課長 PREの検討委員会の開催状況ということですが、議員の皆さまにもお伝えしておりますが、旧幼稚園跡地につきましては、令和元年度からPRE活用検討委員会を立ち上げ協議して参りました。新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして、社会情勢が大きく変わりましたので、令和3年2月の開催を最後に、現在に至るまで同委員会は休止としております。また、同様にワーキンググループの活動及びサウンディング調査も実施はしておりません。

但し、休止期間中におきましても情報収集は続けており、昨年度旧幼稚園の跡地利用を想定いたしましたウェルネスキャ

ンプ事業を実施いたしました。この事業は内閣府が設置している官民連携プラットフォームのマッチング支援という制度を活用し、民間企業から情報提供を受け、スポーツを通しての体力運動能力の向上、食育、ヘルスケアを目的とした体験教室やセミナーを実施いたしました。

休止期間中に委員の変更もありましたので、今年3月に新たな委員を含め、休止までの経緯とウェルネスキャンプ事業の報告会を開催したところでございます。

灰岡議員 はい、議長。

議 長 灰岡裕美君。

灰岡議員 はい、次の質問で、ワーキンググループとサウンディング型市場調査の内容、その後お聞きするつもりでしたが、今、担当の方から令和3年2月以降、新型コロナウイルスの影響も受けまして、ワーキンググループ、サウンディング市場調査も全て休止しているということを伺いました。今一度、その代わりに情報収集としてウェルネスキャンプ事業についてもう一度詳しく教えていただけますか。

議 長 山下課長。

山下都市
建設課長 ウェルネスキャンプ事業の内容ということでございますけれども、これ先程スポーツを通じてというふうに説明いたしましたけれども、ある競技に特化したものをするものではなく、子どもさんであれば基本的な運動能力を求める教室を行ったり、一般の方であればですね、健康の維持、増進、そういった健康に対する基本的なものを教室としてセミナー等実施したものでございます。

灰岡議員 はい、議長。

議 長	灰岡裕美君。
灰 岡 議 員	はい、今回質問しておりますのは、幼稚園、保育園の跡地利用についての質問なんですが、そのいろいろな検討グループが休止してるということで、その代わりにウェルネスキャンプ事業として情報収集を行っていたと聞いたんですが、こういうふうな跡地利用とそのウェルネスキャンプ事業が結びついているのかがちょっと理解できないのですが、そのこのところの見解を教えてください。
議 長	山下課長。
山 下 都 市 建 設 課 長	はい、先程もちょっと触れてはおるんですけども、この旧幼稚園の跡地をですね、利用してそういったセミナーを行ったり、運動教室を行える、まあそういった施設が出来ないかという民間からの提案を受けたものでございます。
灰 岡 議 員	はい、議長。
議 長	灰岡裕美君。
灰 岡 議 員	わかりました。それでは、お聞き、また質問いたしますけども、旧幼稚園、保育園の跡地の有効活用として、セミナーや運動教室とかを活用できる施設をつくるという方向にある程度定まっているから、いるということなんでしょうか。それとも検討委員会に代わるものとしてそういうものを検討してみましたということなんでしょうか。ちょっと理解できないのでお願いします。
議 長	いいですか。山下課長。
山 下 都 市 建 設 課 長	休止以前の検討委員会といたしましては、方向性をまだ示しておりません。検討委員会の休止期間中にですね、民間の業者

からこのような利活用の方法もあるという一提案、まあ情報を、なんと言いますか、聞いたというところでございます。

灰岡議員 はい、議長。

議 長 灰岡裕美君。

灰岡議員 今の課長の答弁は、ある程度納得したのですが、それではこのセミナーとかその場所の活用ということで1つ検討されたのは分かったんですが、民間業者との情報交換において、他に、例えばこの施設、町内の真ん中、すごくいい環境のところにこの跡地がある訳ですが、民間活用として、例えば前回も検討結果に出ておりましたように宅地利用とか町の施設をある程度ここに造るとか、公園とかそういうふうな民間事業者との情報交換はなかったのでしょうか。お聞きします。

議 長 いいですか。山下課長。

山下都市
建設課長 はい、これまでの検討委員会におきましてはですね、売却、あとまあ商業用地であるとかワーケーション施設といったそういった民間からの意見も取り上げておりますけれども、それに加え休止中に先程言ったウェルネスキャンプ事業の情報提供があったというところでございます。

灰岡議員 はい、議長。

議 長 灰岡裕美君。

灰岡議員 前回、令和3年3月の議会の私の一般質問の際、令和2年度の提言のまとめとして、宅地売却案、民間資金を活用した整備案の双方から検討を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会情勢が大きく変化し、これまでの経験則では測れない状況となった。感染症の収束が見えない現段階におい

では、拙速な方針を示すべきではないと判断し、これまでの検討結果と各委員の意見を列記するに留める。今後は新しい生活様式やデジタル化の推進、近隣の宅地開発の状況などの社会情勢を踏まえ、引き続き検証していくことが望ましいという提言内容になっていると前回の質問では答えをいただきました。

最初の、提言のまとめの最初にある、宅地売却案、民間資金を活用した整備案、前回の提言のまとめの中にありましたこの2点に対して、大変、町民も私共も興味を示してるところなんです。先程の答弁の方では、まあ令和3年2月から新型コロナウイルスの感染状況が拡大してなかなか検討委員会もできなかった。方向性もまあ情報収集に留めるということで、まあウェルネスキャンプ事業等の情報収集に努めたとありますが、それでは今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症になった現在、町は今後、保育園、幼稚園の跡地利用の検討についてどのように検討、検証を進めていくのでしょうか。その方向性がある程度協議されているのでしょうか。質問致します。

議 長

山下課長。

山 下 都 市
建 設 課 長

はい、まあ今後の方向性ということでございますけれども、本来であればそうしたコロナウイルス収束しておりますので、PRE活用検討委員会を再開してもよいところではございますけれども、まあ感染症の収束、新しい生活様式が定着した段階におきまして、和木町の土地活用におきまして大きな状況変化が起きていると感じられないところでございます。また検討委員会の休止以降にですね、ウェルネスキャンプという1つ提案ありましたけど、その他に新しい活用案などの検討材料も、検討材料についても乏しい状況です。加えてですね、様々な今物価が上昇している最中でございまして、建設事業費におきまして同様にございます。事業費の見通しが不透明なことからもですね、当面は引き続きですね、情報収集に努めていきたいと考えております。

灰岡議員 はい、議長。

議長 灰岡裕美君。

灰岡議員 はい、先程も質問にもありましたが、今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に分類されました。その状況からまあ今9月ですので4ヶ月経っているんですが、幼稚園跡地検討委員会をまた再度立ち上げて、検討協議していくという方向性には今の時点でなっていないのでしょうか。質問致します。

議長 山下課長。

山下都市建設課長 はい、まあ決してですね、検討委員会の開催を拒んでいるというものでもなく、都市建設課としても今の状況がずっと続くことは望んでいるという訳ではないんですけども、まあ先程言ったさまざまな理由もありますが、1つですね、非常に幼稚園跡地については、和木町にとっても貴重な用地であることは私も理解しております。それを和木町の将来のために必要な用地、それを確保しておくというですね、1つの考え方もあるのではないかと考えております。

様々な状況の中、そういったこの用地については拙速な判断で行うべきではないのではないかというふうに担当課では考えております。

灰岡議員 はい、議長。

議長 灰岡裕美君。

灰岡議員 はい、担当課のお考えを伺いました。

最後に町長に質問させてください。

先程から繰り返しておりますが、令和3年3月議会での私の質問の際、町長は、「少し時間をいただきたいと思います、アフターコロナやデジタル化の状況を考えつつ、より小規模である

保育所跡地から検討してみるのも1つの手かなというふうに思っているところです。このことについて少し考えてみたいという方向で進めてみたいと思っております。」という答弁でした。先程から繰り返しますが、この春コロナが5類感染症となり、いよいよアフターコロナの時期に入ったところです。現在の幼稚園、保育園跡地の利用について、町長の考え、考えと今後の進め方について具体的な構想がありましたら聞かせてください。

議 長 暫時休憩します。

休 憩 10時 25分

再 開 10時 26分

議 長 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。
米本町長。

米 本 町 長 灰岡議員さんのご質問にお答えしたいと思います。
先程来、担当課の方から話をしたと思いますが、まずウェルネスキャンプにつきましては、これは市場調査の一貫でございます。もしそういう施設を張り付けたときに集客が出来ないようなことになってはいけないという情報を取るための1つの手段でございますので、その辺はご承知いただきたいというふうに思います。

それから今年5月に2類から5類に格下げになったと言いましても、まだまだそれに対して備えができてる訳でもございませんし、世の中が完全に元に戻った訳でもございません。また、日々変わっていく社会情勢の中でどうなるか分かりません。私の中ではまあ前回も去年の12月にも同僚議員の方、今年3月にも同僚議員の方から同じような質問を受けておりま

すけど、今現在ですね、この跡地利用に関しましては、私の中で優先順位は高くないんですよ、それで経費が掛かる訳でもございませんし、まあ言ってしまうと固定資産税掛かる訳でもございませんで、慎重にやっぱり見極めていく必要があるんじゃないかというふうに思っております。土地の売却をすればいかにも簡単ですぐですけども、大切な資産、すぐにお金に換えてしまえばいいんだなっていう感覚ではない状態でございます。一生懸命考えながら跡地利用については考えさせていただきたいというふうに思っております。

ただし、そろそろ建物が老朽化をしてくまして、保育所の方も随分と今酷い状態になっておりますので、これは早急に何か手を打たなきゃいけないかなというふうに思っているところでございますのでご理解いただければと思います。

灰 岡 委 員

はい。

議 長

灰岡裕美君。

灰 岡 議 員

はい、今町長から幼稚園、保育園の跡地利用は、そこまで優先順位は高くないけれども老朽化している保育園に対しては手を打つ必要があるというお答えをいただきました。

まあ幼稚園がこども園に移転しまして5年経ちますので、町内のもう真ん中の土地にぽっかりと空き地があるのは、いかにも町の財産としてももったいないのではないかという思いからこれまでも質問を重ねて参りましたが、今日ウェルネスクャンプの話も伺いまして、まあこれからしっかり町がこの大切な資産をどう活かしていくかということを考えているかということを確認いたしました。

そこでですね、例えば先日1歳未満のお子さんとお母さんの会合で、この夏は暑くて子どもを公園に連れていくことができなかった、家に引きこもっていて子どもと2人でやっぱり大変だったっていう話をたくさん伺いました。近隣の市町のように親子がいつでも利用できるつどいの場が欲しいという要望を

たくさん聞いております。ウェルネスキャンプ構想についてもその一貫かと思うんですが、そういうことを踏まえてこれからじっくり町が構想を練っていくということでしたら、この居住面積の少ない本町にとりまして、中心部に位置を占めております幼稚園、保育所の跡地利用、町民の興味を大変引いております。私共議員も様々な町民の皆さまの思いを聞き、町に提言していくべきだと思っております。

以上で、一般質問を終わります。

議 長 はい、再質問はございませんか。

灰岡議員 はい、ありません。

議 長 再質問がないようですので、以上で灰岡裕美君の一般質問を終わります。